

緊急連絡！ 連日 30 越す中でのグラノールの塗装について

連日 30 を越す日々が続いております。こんな状況下でのガラス塗料のグラノールの塗装について注意事項が御座います。

高温多湿における問題点

1. 硬化時間が早すぎてムラが出来やすい。
2. 厚め塗ると気泡が発生することがあり、そのまま硬化してしまう。
3. グラノールのアルコール分の蒸発が激しく粘度が増して塗りにくくなる。

対応策

1. 施工箇所は直射日光が当たらないようにして、あらかじめグラノールを 20% から 50% まで純度の高いエタノールで希釈してから使用します。エタノールで希釈した分乾燥に時間が掛ります。また、純度の 99.4% のエタノールは薬局で即入手しにくいと思います。
(株)マルダイでも 1L, 4L と手配できますので、ご利用下さい。

絶対に避けて欲しいのは、消毒用エタノールです。多少水分がありますので、グラノールに混ぜた時点で硬化がはじまります。消毒用エタノールの希釈は禁止としておいて下さい。

*** 希釈したグラノールは当然、ガラス成分が少ないわけですから、通常 2 回塗りならば、3 回と回数を増やしていただきたいと思います。



無水エタノール 99.4%
希釈液

2. 小まめにグラノールの蒸発を防ぐ対策として、塗布用モップ、使用中のグラノールはタッパ等で塗り終わったら、即蓋をして日陰等で保管する。モップのタッパにはエタノールを少しためて保管したい。乾燥後、再度塗り、このような保管を繰り返します。



マイクロファイバー布を手掛けモップに巻きつけて使用します。
(ダイソーで2枚で100円)



一時使用後はメタノールに少し漬けて保管します。そしてタッパの蓋をします。
(このタッパはダイソーで100円)



グラノール剤も乾燥待ちの間はタッパの蓋をして保管します。
できるだけ、一回分のグラノールをタッパに入れて使って下さい。

3. この暑さでありますから、**できるだけ薄く塗って早く仕上げて**、塗りながらその都度塗装ムラに注意していきます。もし、塗装ムラが出た場合は、乾燥後#600のペーパーにて研磨しながら、調整していきます。

*****薄くぬるコツはモップの角を液に浸して伸ばしていきます。**

グラノールの塗装における準備品について

(株)マルダイとしてこんな準備をしています。(参考まで)



純度99.4%無水エタノール

グラノール艶有り

使用済みモップ保管容器

マット剤艶調整剤

グラノール液塗り間の保管容器

マイクロファイバークロス

塗装後の毛羽立ち除去用#600ペーパー

洗浄用アセトン

塗装後、タッパ等をアセトンにて洗います。



グラノールの艶調整の配合について

1. 半消し 主剤グラノール 100cc、マツト剤 5cc
2. 全消し 主剤グラノール 100cc、マツト剤 10cc
***2液混合後良く振って使用して下さい。

使用用途による塗り回数

テーブル、カウンターは最低3回塗り、できれば4回塗りとしたい。
湯のみ等の輪染みが付きにくくなります。
一般家具建具等は2回塗り。

以上、緊急の連絡でした。

(株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木

平成22年8月20日